

哲学

Philosophy

教授 盛永審一郎 Morinaga Shinichiro

◆ 研究概要

- 1) 実存倫理思想の研究.
- 2) 応用倫理学の研究.
- 3) 哲学的生命論の研究.

◆ 原 著

- 1) Shinichiro Morinaga: the Current Debate on Human Embryo Research and Human Dignity, *Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine*, 3: 3-23, 2008.
- 2) 盛永審一郎：聞き取り調査報告：生を終える決定. *医療と倫理*, 7: 50-57, 2007.
- 3) 盛永審一郎：Profession としての集団 - ドイツ医師会についての一報告 -. *富山大学医学会誌*, 19(1):67-73, 2008.

◆ その他

- 1) 盛永審一郎：生命倫理, 朝日新聞「私の視点」, 2月20日 (月刊医療情報2月号に転載).
- 2) 盛永審一郎：疑わしい場合は生のためにⅦ, 北陸中日新聞 4月1日文化欄.
- 3) 盛永審一郎：疑わしい場合は生のためにⅠ「代理母」, 北陸中日新聞 5月11日文化欄 (月刊医療情報6月号に転載).
- 4) 盛永審一郎：疑わしい場合は生のためにⅡ「極体診断(上)」, 北陸中日新聞 5月18日文化欄.
- 5) 盛永審一郎：疑わしい場合は生のためにⅢ「極体診断(下)」, 北陸中日新聞 5月25日文化欄.
- 6) 盛永審一郎：疑わしい場合は生のためにⅣ「万能細胞(上)」, 北陸中日新聞 6月1日文化欄.
- 7) 盛永審一郎：疑わしい場合は生のためにⅤ「万能細胞(下)」, 北陸中日新聞 6月8日文化欄.
- 8) 盛永審一郎：科研研究成果報告書「生命の尊厳をめぐるアメリカ対ヨーロッパの対立状況と対立克服のための方法的な研究」, 富山大学, 2008.6, 1-60.
- 9) 盛永審一郎：イギリスでハイブリッド胚の作成容認 - 倫理面での整備が必要, 神戸学院大学生命倫理フォーラム年報, 2008, 14号, 2-4.